

第18回アジア競技大会の結果について

第18回アジア競技大会ソフトテニス競技参加の日本選手団に対して、全国各地から、また大会会場のインドネシア、パレンバンで、多くの皆様からご声援を頂き誠にありがとうございました。

女子シングルスで高橋乃綾選手が日本選手としては初の金メダルを獲得し、国別対抗では女子チームが2大会、8年ぶりに金メダルを獲得しました。また男子チームは銀メダルを獲得、ミックスダブルスではアジア大会初出場の林田リコ・上松俊貴ペアが銅メダルを獲得しました。

このように立派な成果をあげられたのも、国内、現地を問わず声援いただいた皆様方の声援のお陰です。今後とも、日本代表選手のみならず、各地で頑張る選手や関係者に熱いご支援を頂き、ますますソフトテニスが発展しますようにご支援よろしくお願い致します。



金メダルの女子チーム



銀メダルの男子チーム



金メダルの高橋乃綾選手



銅メダルの林田リコ・上松俊貴ペア

第18回アジア競技大会日本代表選手団

【選手団】

		氏 名	所 属
団 長		北本 英幸	(公財)日本ソフトテニス連盟 理事/強化委員長
マネージャー		吉川 友巳奈	ゆらく接骨院
男 子	監督	中堀 成生	NTT西日本
	コーチ	川村 達郎	宇部興産
	トレーナー	田中 京介	せんだメディカルクリニック
	選手1	船水 颯人	早稲田大学
	選手2	上松 俊貴	早稲田大学
	選手3	丸中 大明	NTT西日本
	選手4	長江 光一	NTT西日本
	選手5	増田 健人	和歌山県庁
女 子	監督	斉藤 広宣	松戸市役所
	コーチ	高川 経生	ヨネックス
	トレーナー	川上 晃司	スポーツインテリジェンス
	選手1	林田 リコ	東京女子体育大学
	選手2	半谷 美咲	どんぐり北広島
	選手3	高橋 乃綾	どんぐり北広島
	選手4	尾上 胡桃	日本体育大学
	選手5	黒木 瑠璃華	ヨネックス
医科学	スポーツ科学部会	工藤 敏巳	宮城学院女子大学
	スポーツ科学部会	永野 康治	日本女子体育大学

	男子シングルス	女子シングルス	ミックスダブルス	国別対抗 (男子)	国別対抗 (女子)
金メダル	KIM JINWOONG (韓国)	高橋 乃綾 (日本)	YU KAWIEN・CHENG CHULING (中華台北)	韓国	日本
銀メダル	SIE ALEXANDER ELBERT (インドネシア)	CHENG CHULING (中華台北)	KIM KISUNG・MUN HYEGYEONG (韓国)	日本	韓国
銅メダル	KIM DONGHOON (韓国)	YU YUANYI (中国)	KIM BEONJUN・KIM JIYEON (韓国)	インドネシア	中華台北
銅メダル	SIMPATIAJI PRIMA (インドネシア)	PITRI DWI RAHAYU (インドネシア)	上松 俊貴・林田 リコ (日本)	中華台北	中国

【男 子】



船水 颯人
早稲田大学



上松 俊貴
早稲田大学



丸中 大明
NTT西日本



長江 光一
NTT西日本



増田 健人
和歌山県庁

【女 子】



林田 リコ
東京女子体育大学



半谷 美咲
どんぐり北広島



高橋 乃綾
どんぐり北広島



尾上 胡桃
日本体育大学



黒木 瑠璃華
ヨネックス

第73回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権大会の開催について

日 程 平成30年 10月19日(金) 受 付 午前8時～ 開 会 式 午前8時30分～ 競技開始 午前9時
10月20日(土) 競技開始 午前9時
10月21日(日) 競技開始 午前9時
10月22日(月) 予 備 日

会 場 女子：熊本県民総合運動公園パークドーム熊本
〒861-8012 熊本県熊本市平山町3096番地
男子：熊本県民総合運動公園メインテニスコート
〒861-8012 熊本県熊本市平山町2972番地



最寄の交通機関

市電「辛島町駅」「花畑町駅」の停留所を降りてすぐのバスターミナルで熊本交通センター「16のりば」「17のりば」から出ています。

「16のりば」の場合

【子11】の「子飼・供合」経由「東熊本第二病院」行き、または【子12】の「子飼・供合」経由「光の森産交」行きに乗車し、「運動公園入口」で下車してください。

「17のりば」の場合

【鹿4】の「託麻原本通・免許センター」行き、または【鹿8】の「託麻原本通・免許センター」行きに乗車し、「パークドーム熊本前」で下車してください。

テレビ放映もありますので、是非ご覧ください。

10月27日(土)NHK Eテレ 14:00～15:30放送(予定)

解説：中堀成生 日本代表男子監督(予定)



●第72回大会では、女子の林田・宮下ペアが67年ぶりに高校生チャンピオンに輝きました。本年度の大会では、どんなドラマがうまれるのでしょうか。

また、日本ソフトテニス連盟のホームページに、組み合わせの事前公開もあります。お楽しみに。

この大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターより、「スポーツ振興基金」の助成を受けて実施しています。



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

平成29年度事業報告(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

Ⅰ. ソフトテニスの普及振興事業

- ソフトテニス競技規則等の制定事業
 - ソフトテニス競技が明朗で円滑・公正に、また安全で楽しく競技できるように、競技規則、審判規則、大会運営規則等を見直し検討を重ねた。今後さらに検討を重ね、競技規則、審判規則、大会運営規則やジュニア審判マニュアルに反映を図りたい。
 - アジア連盟加盟国・地域会議(北九州国際会議場)におけるレフェリーセミナーに講師を派遣し、国際競技規則の理解を深め、また、英語版審判技術マニュアル(DVD)等を活用して、審判技術の向上に努めた。あわせてソフトテニス「ルール(きまり)とマッチ(試合)の進め方」の英語版を配布して国際普及の推進を図った。
- 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
 - 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。
 - 国民体育大会種別参加チーム数の改訂
種別参加チーム数のローテーションを実施した。
 - 大会の検討と大会運営の改善
 - 平成30年度より、シニア45男女を全日本社会人選手権大会に移行して社会人45才種別として実施することとした。
 - 全日本団体選手権大会および全日本ミックスダブルス選手権大会の開催について検討した。
 - JOCジュニアオリンピックカップ大会/全日本ジュニア選手権大会では、荒天のためダブルスは実施できなかった。
 - 全日本シングルス選手権大会での参加枠を一部変更し、実施した。
 - 日本スポーツマスターズの参加者の負担軽減等を考慮し、3日間から2日間開催に変更し開催した。参加都道府県は平成28年度の27より、平成29年度は39に増加した。
- 地域等における競技会開催に補助を行った。
- 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
 - ソフトテニス週間の実施
 - 10月の体育の日(月)を中心とした週(金曜日から木曜日)をソフトテニス週間として定め、全国で一斉にソフトテニスを楽しみアピールした。
 - ソフトテニス愛好者増加対策
 - 中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境の提供事業、またレディーズを含めた社会人を対象として都道府県連盟が実施する愛好者増加対策事業を支援した。
- ソフトテニスの広報活動
 - 平成13年から継続している全日本選手権大会のNHKテレビ放送を17回連続実現した。
 - 日本連盟ホームページに大会情報、大会結果等の迅速な掲載を行った。また、日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開した。
 - 機関誌「ソフトテニス」の毎月発行し、内容の充実と購読者募集を行った。また、会員報を年2回発行した。
 - ソフトテニスの歌「ウイニングショット」、ソフトテニス応援歌「青空背負って」の活用を呼びかけた。
 - マスコットキャラクター「そふていー」を小学生の大会およびその他の大会等に登場させ、ソフトテニスを広くアピールした。
 - 平成30年3月24日に大阪アカデミアにて全国広報担当者会議を開催し、新たな広報活動の推進を図った。

Ⅱ. ソフトテニスの競技力向上事業

- ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査
 - 競技力向上
 - 一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。Step-1,2,3はスポーツ振興くじ助成金の対象事業、第12回ソフトテニスジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム(Step-4)」はスポーツ拠点化助成事業として実施した。
 - 日本代表チームおよびナショナルチーム(男子、女子)及び全日本U-14・U-17・U-20(男子、女子)強化合宿を次のとおり実施した。
 - 国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図った。
 - 強化スタッフ・強化委員を各種大会に派遣した。
 - 医科学研究調査
 - 医科学スタッフによるサポート事業を実施した。
 - 各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てた。
 - 医科学研究報告書を作成・発行し、指導現場に役立てた。
 - 国立スポーツ科学センター(JISS)におけるアスリートチェック事業での検査・測定を行った。

(3) アンチ・ドーピング

- アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を実施した。
 - 国内大会におけるドーピング検査を実施した。
 - 国際連盟およびアジア連盟と連携してのアンチ・ドーピング活動の推進を図った。
- ソフトテニスの指導者育成
 - 指導者養成
 - 指導者養成講習会を7都道府県の会場や履正社医療スポーツ専門学校において実施した。
 - 全国小学生・中学生・高校生の指導者の合同研修会を実施した。(参加者150名)
 - 競技者育成プログラムおよび指導者養成推進等のため日本連盟として指導者バンクを有効に活用する方策等について検討を行った。
 - 積極的に地域における指導者バンクを活用して、競技者育成プログラム(Step-1, 2)の推進及び中学、高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者の確保に協力した。
 - 公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会と開催し、17名の「公認スポーツ指導者養成講習会」の講師を養成した。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

- ソフトテニスの国際振興
 - 国際普及活動の推進
 - 中国の要請により、武田博子氏を派遣した。
 - タイ代表チームの桜友会(日体大OB会)合宿、セミナーへの参加支援を実施した。
 - 我が国から提出されたテニスとソフトテニスのアウトコートと比較を基にアジア連盟より国際連盟に規則の改訂案が準備された。
 - 国際大会およびアジア連盟加盟国会議等において、ラケット、ボールを支援した。
 - アジアカップ、加盟国会議において、アジア連盟からの依頼により審判講習会を実施した。
 - 国際普及親善活動に結びつく、支部活動に対する「国際親善大会補助費」を助成した。
 - 国際指導体制、審判体制等の充実
 - 国際審判員制度(ASTF)の推進を図った。
 - 国際大会の開催促進を図った。
 - 国際組織(ASTF)への活動
 - アジアソフトテニス連盟(ASTF)の加盟国会議の開催に、平成29年12月9日(土)・10日(日)の2日間、開催国として協力した。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化〕

- 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し公益目的事業を行うために、組織体制の強化と財政運営に取組んだ。
- ソフトテニスを通じて環境教育と青少年健全育成に取組んだ。
- 会員登録制度の推進
 - 会員登録制度の周知徹底を図り制度を定着させ、会員増加を目指して推進した。
 - 会員登録手続きの効率化
 - 会員登録システムの活用を向上し、事務効率化を図った。
 - 会員登録システム担当者引継ケースを各登録団体に配布した。これは3年に1度の配布で実施しており、登録団体において管理者が交替する際の事務引継の徹底と円滑化を図っている。
 - 会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行った。
 - 平成27年度より開始した支部大会申込システムの活用を促進した。
 - 会員証及び会員報を各団体へ直接送付し、支部関係者の事務負担の軽減を図った。
 - 会員登録料納付システムの活用による会費および大会参加料等の早期かつ正確な納付による円滑な資金管理を推進した。
 - 年2回(9月、2月)会員報を発行して会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。
 - 支部別及び階層別の登録状況を把握し、年度別登録人数の推移を精査し今後の対策を協議した。
- 暴力行為の根絶のため、平成25年12月1日に制定した指導基本規程に基づき、通報窓口と指導基本規程違反の処理機関として、違反救済申立処理委員会を各支部(各都道府県連盟、日本学連、全国高体連、日本中体連)に、違反救済審査委員会を日本連盟に平成26年4月1日より設置し、指導基本規程等諸規程に従った対応を図った。
- 長期基本計画2017の推進
平成29年度は長期基本計画2017(平成29年度～33年度)開始の年であり、着実に推進した。

会員登録料に関する使途概要(平成29年度)

会員登録料(248,269千円)の使途は主として

- 1 競技力の向上「競技者育成プログラム」
- 2 競技性の向上
- 3 国際性の向上
- 4 大衆化の促進
- 5 広報活動の強化

等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。

具体的な金額は一般会計と特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、登録料を原資にした補充額は平成29年度は概ね次のとおりでした。

(競技力の向上 57,166千円)

- ・選手強化費(ナショナルチーム、全日本アンダーチーム合宿、国際大会派遣) 12,924千円
- ・競技者育成プログラム推進費(ステップ1～4、支部強化推進) 43,838千円
- ・その他競技力向上費(ドーピング関係費・医科学研究費等) 398千円
- ・指導者養成事業(指導者養成講習会、指導要領作成費) 6千円

(競技性の向上 39,009千円)

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 25,016千円
- ・全日本小学生大会・全国小学生大会・都道府県中学生大会 13,993千円

(国際性の向上 15,280千円)

- ・国際大会派遣費 1,014千円
- ・国際大会振興補助費 2,713千円
- ・国際普及用具用品購入費 942千円
- ・国際普及指導費(親善大会、大会振興補助、普及指導) 10,611千円

(大衆化の促進 69,234千円)

- ・地域グループ育成費(各支部へ一般登録料の20%還元) 11,483千円
- ・ジュニア育成費(各支部を通じて小・中・高・高専登録料の還元) 37,454千円
- ・愛好者増加対策 6,900千円
- ・ソフトテニス週間、支部中学生大会 7,260千円
- ・審判、指導者育成費(小・中・高生指導者研修会) 6,137千円

(広報活動の強化 30,190千円)

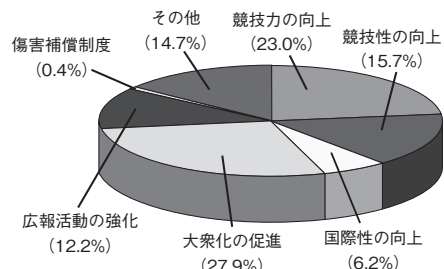
- ・テレビ放映関係費(NHK全日本選手権大会の番組製作費) 7,412千円
- ・インターネット関係費(ホームページ管理、システム構築) 7,489千円
- ・大会記録集作成費 1,343千円
- ・会員報作成費 4,687千円
- ・機関誌関係費 4,288千円
- ・その他広報活動費 4,971千円

(傷害補償給付金等 1,000千円)

(その他 36,390千円)

- ・学連への還元 2,027千円
- ・高体連への還元 4,633千円
- ・中体連への還元 450千円
- ・会員登録事務費 26,101千円
- ・事務所管理費等 3,179千円

合 計 248,269千円



事務局からのご連絡

会員登録のお名前を間違えた場合について

会員証がお手元に届いた後に、登録のお名前の間違いに気づいた時は、団体管理者の方が会員登録システムのデータを修正して頂き、その後、日本ソフトテニス連盟のホームページにあります「会員証再発行申請書(フリガナ修正用)」に必要事項をご記入後、会員証と申請書を所属する加盟団体(都道府県連盟)にお送りください。

正味財産増減計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	65,729	1,161,611	△ 1,095,882
会費収入	294,549,000	300,098,500	△ 5,549,500
事業収入	156,690,748	161,498,098	△ 4,807,350
補助金等収入	88,356,485	85,601,354	2,755,131
協賛金寄付金収入	35,300,000	45,250,000	△ 9,950,000
雑収入	5,744,537	4,824,279	920,258
経常収益計	580,706,499	598,433,842	△ 17,727,343
(2) 経常費用			
事業費	219,126,778	249,441,698	△ 30,314,920
管理費	116,288,972	115,196,079	1,092,893
加盟費	734,876	1,075,603	△ 340,727
競技力向上費	157,820,616	166,947,080	△ 9,126,464
指導者育成事業費	5,258,202	5,903,360	△ 645,158
大会開催等関係費	21,807,767	22,143,596	△ 335,829
スポーツマスターズ参加支援費	5,880,996	4,072,680	1,808,316
減価償却費	1,606,192	1,606,192	0
経常費用計	528,524,399	566,386,288	△ 37,861,889
評価損益等調整前当期経常増減額	52,182,100	32,047,554	20,134,546
基本財産評価損益等	0	△ 3,363,946	3,363,946
特定資産評価損益等	0	△ 68,010	68,010
投資有価証券評価損益等	0	△ 44,930	44,930
評価損益等 計	0	△ 3,476,886	3,476,886
当期経常増減額	52,182,100	28,570,668	23,611,432
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	52,182,100	28,570,668	23,611,432
一般正味財産期首残高	642,052,073	613,481,405	28,570,668
一般正味財産期末残高	694,234,173	642,052,073	52,182,100
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	694,234,173	642,052,073	52,182,100

平成29年度会員傷害補償制度事故実績

本連盟独自の傷害制度の29年度給付状況と主な傷害内容は次のとおりでした。

事 故 件 数 30件

支 給 給 付 金 978,000円

(単位：件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	5						5
骨 折	4			1	1	1	7
靱 帯 損 傷	2			1			3
肉 離 れ	7						7
そ の 他	5				2		7
死 亡	1						1
計	24			2	3	1	30

充分なウォーミングアップで事故を防止し、ソフトテニスを楽しんでください。

万一傷害に遭われた場合は、本連盟にお問い合わせください。

なお、補償内容・給付金請求の手続きについては日本ソフトテニス連盟ホームページの「傷害補償制度」に記載されております。

スポーツくじ

toto
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

会員登録者の実績

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508

平成29年度 会員登録数

No	支部名	指導者	一 般		小学生		中学生		高校生		高 専		大学生		合 計	
		会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
1	北 海 道	268	177	2,212	36	638	266	7,660	145	3,308	4	109	0	9	628	14,204
2	青 森	313	48	461	18	247	98	3,435	44	908	1	5	1	0	210	5,369
3	岩 手	363	62	1,100	31	478	128	3,778	69	1,880	1	32	0	9	291	7,640
4	宮 城	128	93	1,071	23	523	177	5,289	78	2,555	2	34	2	95	375	9,695
5	秋 田	246	38	514	17	452	76	2,255	39	947	1	3	0	8	171	4,425
6	山 形	172	40	578	20	446	68	2,739	43	1,247	1	3	1	20	173	5,205
7	福 島	455	79	705	29	631	153	6,169	68	1,795	1	47	0	1	330	9,803
8	茨 城	465	69	857	21	680	205	9,295	81	2,370	1	1	0	2	377	13,670
9	栃 木	35	37	747	19	431	125	5,153	51	1,259	0	21	0	25	232	7,671
10	群 馬	239	44	891	23	755	146	6,132	49	1,260	1	8	0	10	263	9,295
11	埼 玉	230	203	3,838	34	1,157	375	18,508	128	4,375	0	1	0	167	740	28,276
12	千 葉	769	109	1,716	22	550	338	16,718	119	3,395	1	18	0	32	589	23,198
13	東 京	166	136	3,070	25	455	203	5,667	179	4,811	1	13	0	131	544	14,313
14	神 奈 川	640	89	1,040	17	453	355	19,382	134	3,134	0	0	0	2	595	24,651
15	山 梨	125	51	523	14	352	46	1,015	30	885	0	0	0	19	141	2,919
16	新 潟	219	52	830	26	506	156	4,393	63	1,371	1	20	0	6	298	7,345
17	長 野	172	36	1,385	17	337	120	4,112	66	1,605	1	19	0	5	240	7,635
18	富 山	143	22	349	17	392	62	2,273	28	872	0	0	0	0	129	4,029
19	石 川	47	50	648	22	426	65	3,343	37	1,082	1	9	1	37	176	5,592
20	福 井	38	32	373	6	203	40	1,279	15	551	1	0	0	1	94	2,445
21	静 岡	715	124	1,446	31	920	316	12,871	80	1,559	1	19	2	13	554	17,543
22	愛 知	286	174	3,055	23	831	348	18,504	143	5,563	0	43	0	24	688	28,306
23	三 重	105	51	593	14	337	145	6,131	50	1,401	1	7	0	28	261	8,602
24	岐 阜	60	63	881	26	657	254	6,529	49	1,892	0	0	0	10	392	10,029
25	滋 賀	95	31	509	12	378	71	940	42	1,471	0	0	0	11	156	3,404
26	京 都	128	86	775	17	386	93	2,915	55	1,692	0	0	0	6	251	5,902
27	大 阪	322	91	1,602	10	232	311	11,649	190	3,321	0	0	0	6	602	17,132
28	兵 庫	249	83	1,402	21	404	304	15,779	148	5,038	2	31	0	0	558	22,903
29	奈 良	126	31	846	9	170	65	2,627	29	967	0	0	0	2	134	4,738
30	和 歌 山	163	52	645	19	410	102	3,175	29	924	1	33	0	0	203	5,350
31	鳥 取	73	37	384	11	161	34	1,057	22	579	1	11	0	1	105	2,266
32	島 根	86	49	380	13	271	47	1,685	41	865	1	0	0	0	151	3,287
33	岡 山	149	62	592	12	274	135	5,894	67	2,190	1	39	1	10	278	9,148
34	広 島	296	123	1,325	15	273	153	5,524	97	2,806	2	61	0	81	390	10,366
35	山 口	157	71	1,209	9	301	106	4,642	52	1,597	3	84	1	64	242	8,054
36	徳 島	144	24	329	9	180	94	2,138	24	515	1	32	0	0	152	3,338
37	香 川	39	28	382	10	250	51	2,374	29	788	2	21	0	0	120	3,854
38	愛 媛	146	38	610	12	246	130	4,283	61	1,344	1	93	0	3	242	6,725
39	高 知	60	27	344	11	165	32	886	22	532	1	8	0	9	93	2,004
40	福 岡	582	75	1,076	17	365	194	7,301	142	2,832	4	85	1	44	433	12,285
41	佐 賀	232	26	352	15	340	73	2,681	41	890	0	0	0	5	155	4,500
42	長 崎	459	59	908	16	305	146	4,228	101	1,982	2	29	0	67	324	7,978
43	熊 本	460	62	792	18	358	139	4,372	61	1,559	2	34	1	7	283	7,582
44	大 分	212	56	560	13	214	101	2,337	27	723	0	21	0	48	197	4,115
45	宮 崎	286	56	487	23	495	156	3,154	40	923	1	19	0	1	276	5,365
46	鹿 児 島	342	115	1,068	39	419	180	4,591	76	1,309	2	36	1	39	413	7,804
47	沖 縄	72	43	674	10	114	47	1,145	27	297	0	1	1	24	128	2,327
48	日本学連	1	0	9	0	0	0	0	0	7	1	19	430	6,794	431	6,830
合 計		11,278	3,204	46,143	872	19,568	7,029	268,007	3,211	85,176	49	1,069	443	7,876	14,808	439,117
昨年度		11,073	3,199	46,346	853	19,728	7,079	280,857	3,213	85,632	48	1,037	445	7,945	14,837	452,618

(平成30年3月31日現在)